

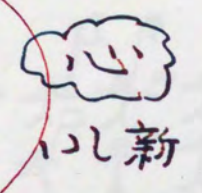
日記

西川幸江

(イ) (ロ) (ハ) (ニ) (ホ) (ヘ) (ト) (チ) (リ) (ワ) (カ) (ク) (ケ) (コ)

日記を書く心得

字はきれいに一字一字馴つかりかく
 帳面はよぎやうに無駄にしないやう
 ためがきをしないこと
 字はまちがへないやうに
 繪もたまにはかくこと
 歌句をかくのもよい
 日記は後に残るものだからきれいに
 戦況もかくこと
 反省してかくのがよい
 季節のことや自分の氣持をかく
 長くかくこと



新しい月



七月一日

新しい帳面だ。月~~も~~も新しい。心も
 新しくして右に書いたことをしつかり
 守つてかかうと思ふ。(二)にかいたことを
 さつやく忘れてまちがへてしまった。
 今月の班長は青木さんです。お席も
 代つて木谷さんとお並びです。こ
 れからは暑くなるから心がだら
 れることも多くなるのでしつかり心
 をきめて暑さに負けないやうに體
 をきたへやうと思ひます。さあさあ
 しつかりしやう。

席い夜になその覺悟
 實際に暑いく日夫を
 浴びたときに行ひぬき
 ませう

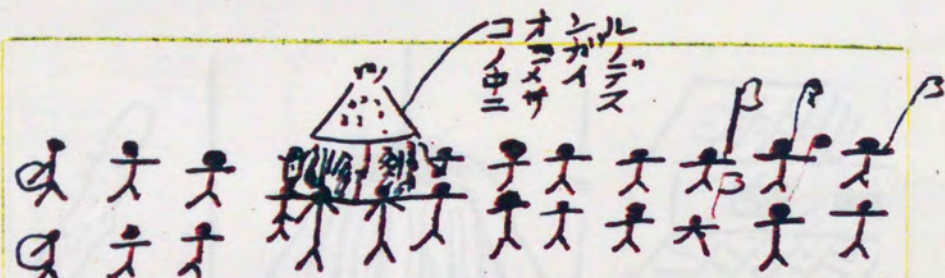
七月二日

久いぶりのお休みですが、前戦の兵隊さんの事を思へばお休みなどなくともいっわけです。さう思ふと日曜日といつて遊んではゐられません。午前中地理の復習と豫習をしました。満洲の産業圖を書いてみました。が東南部ばかりいろんな物があるので困つてしまひました。明日學校へ持つて行つて大橋先生に見ていただきませう。夕方から雨が降り出しました。丁度よいおしめりです。



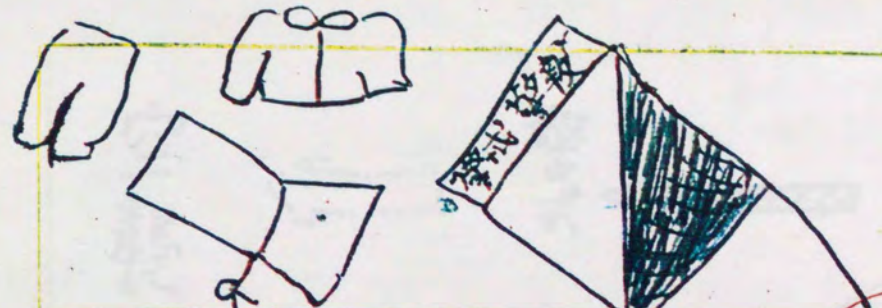
七月三日

今日は食パンが半斤配給されました。家に歸つてから母と一しよにたべました。また柔かくておいしいパンでした。下校の前に大橋先生が満洲の~~お~~人形を見せて下さいました。お嫁入の行列です。二列に長く並んでゐておつきが四十二人おました。皆揃ひの黄緑の服を着てゐました。本當にりっぱなものです。日本では絶体に見られぬものです。私はびつくりしてしまひました。



七月四日

一時間めがすんで、放課の時、私は日記を出しに行つたら、中央階段の所で、警戒警言報のサイレンを聞きました。とたんに齊藤先生が、教室へ入れといわれたので、私は大急ぎで教室へ入つて、ただちに下校の用意をしました。さわぐ胸を落着かせながら、私達の班には、(中野班)一年生が四人、二年生が一人、下級生が多いので、私はいろいろ世話をやいてあげました。その中にも、東中野の人が、一年生が三

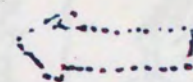


人二年生が一人、三年生が三人、四年生が一人。おりる人がとても澤山いるので、おくつて行かれる人は選んで行つてあげました。早く夕飯にしないで、はならないので、母の手傳ひをしました。夜は十分に警戒戒しました。今日、家でなつたきょうりの初なりをたべました。新鮮なお野菜は大へんおいしくて、歯切れよいです。よく洗つて、おしほをつけてたべました。ぽりぽりとよい音をたてて、お腹の中へ入つて行きます。

七月五日

警戒が解かれなかったので今日はお休みです。午前中に地理のお勉強をしました。午後は銀行へお使ひに行きました。夕方警戒戒警報が解除になりました。敬言戒警報が出て、空襲にならなくて本當は日本の國は有難いです。それにすぐ解除になつてしまふし。今日は一日しよぼしよぼと雨が降つておきました。おかげで防火用水も水が満々します。明日は學校へ行かれます。嬉しいなあ

警戒



空襲

七月六日

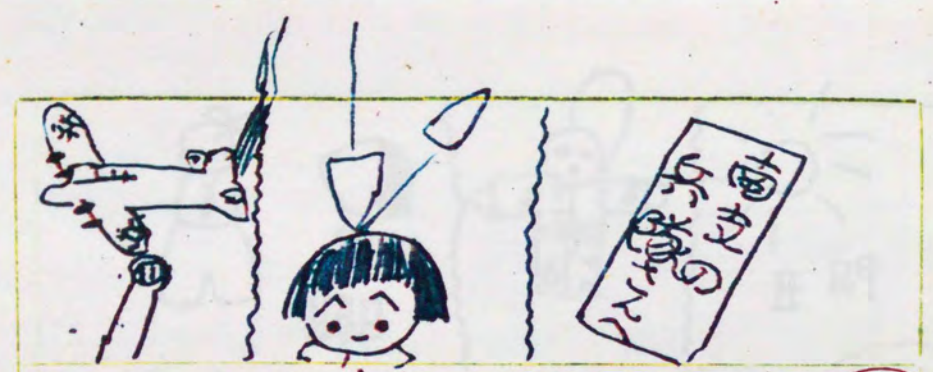
二時間め(体操)に、無線電信の練習をしました。一入づつ打ちました。私の時先生は「よし、うまいとおつしやつたので大へん嬉しく思いました。武道は体操になりました。今日のお裁縫はえりの仕末のくけるところまでやりました。くけるのはまつりぐけです。早く作つて着てみたいなあ。私の洋服の布は裁縫袋とお皿入れと同じです。その洋服を着て、袋をさげて、お皿入れを肩にかけると――





七月七日

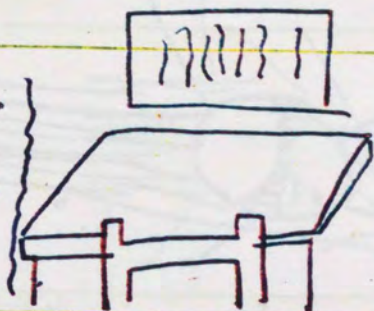
今日は支那事變記念日です
地理の時間の後で大橋先生に地理附
圖をおかりしました。雨量・温度・町名
などを調べるためです。
七夕様ですが今年は決戦下なのでよ
しました。
今年の季節は例年よりずっとおくれ
てゐます。七月なのにまださほど暑く
ありません。暑くなっても大へんしの
ぎやすいので大へん楽です。南方も
涼しいといふかなあ。



七月八日

慰問文は南支へ書きました。下校の
時訓練がありました。
今日は午前八時と正午にサイレンの訓
練があるはずですが敵機が南支北九
州をおそつたさうなのでやめになりま
した。我が方の損害は輕微でした。今に
東京へ来るかもしれません。十分に心
をしっかりとらせて空襲などびくともし
ないやうにします。B29だつて、
来たつてこわくない。来るなら来てみ
ろいぞ敵機。

三日坊主



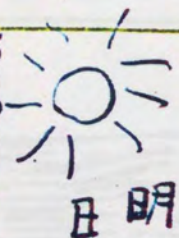
なまけもの

奮戦

七月九日

今朝ねえやが田舎へ歸りました。今日からは母と二人暮しです。うんとお手傳ひをしようと思ひます。今日メリケン粉の配給があるといふので、さつやく自轉車で行つて來ました。夜御飯のお手傳ひもうとしました。三日坊主にならないやうに、注意させよう。私の日課といふものを書いて勉強机の前へはつておきました。毎日必ずやりませう。さあさあ、これから私の奮戦が始まります。
暑さに負けぬ元氣を出そう

七月十日



明日



明日

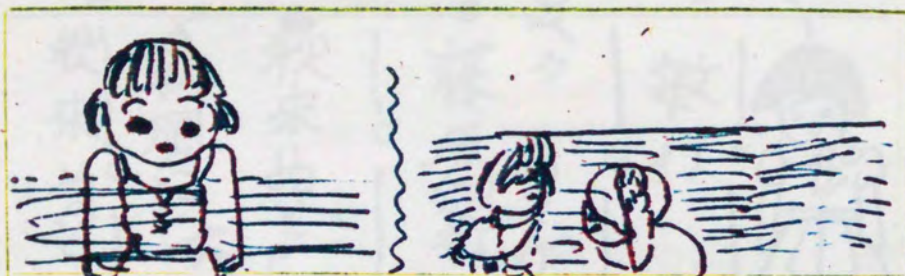
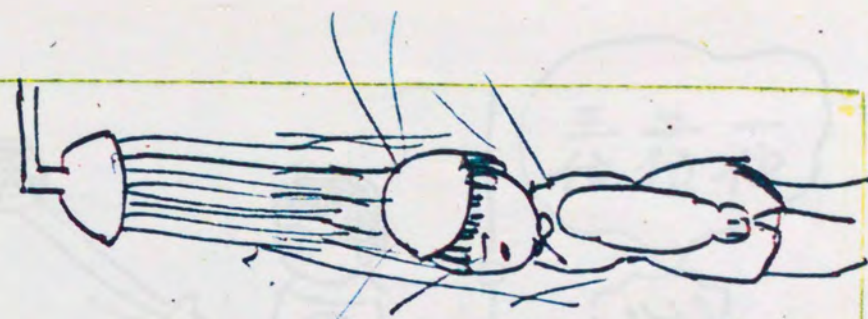


今日は郊外園へ行きました。堀先生のお話がありました。そのお話といふのは學童疎開のお話です。なるべくするやうに、いふお話です。どーうしてもいられない方は集團疎開ださうです。それから明日からは水泳があるのです。家へ歸つてから、さつやく海水着を出して用意しました。明日はお天氣のやうに、楽しみにして明日を待ちませう。

てるてる坊主てる坊主明日天氣に扮しておくれ

七月十一日

今日の給食当番は一番始めに古川さんとしよに一部三年へ御飯を持って行きました。その後で二部三四年へ三番めは今日はパンの配給があるのでそれを持って三部五年へ行きました。そのパンはお家に持って歸つて母と二人で食べました。お味噌の味がするおいしいパンでした。五時間めに水泳をしました。水着に着かへるのが取しので大急ぎでやりました。ジャウはとてもよい氣持です。暑さが一ぺんに



ふつとんでしまひさうでした。プールは私の脇と肩の真中あたりまでありました。水にもぐるのとばた足のけいこをしました。浮く位なら一寸できます。目を開いて水に入ると皆の足がぼんやりと見えます。出てからも本當に好い氣持でした。又ジャウにがかりました。何度か入つてみました。頭の上からサーッと水をかぶるのですからとても涼しいです。六時間めは一部四年です。家に歸つてから、お母様によかつたねえといわれました。海も日本のサモエ海、水は暖かく泳ぐのやうに致しませう。

一位
二位
三位



七月十二日
就壘球大會です。一組は、高一の二組と
やつて勝ちました。二組は二ノ六とし
て負けてしまひました。一組は、今度
二ノ五の一組とです。しつかりして勝たな
くては、そして三位までにはならなく
ちやう。さあ頑張らう。お習字の先
生へ行きました。「見張舟夕立雲」と
書きました。さあ今度こそ張り出
したになれるやうに。うんと馬力をか
けて書きました。何となく土曜日か
たのしみです。



敏行

藤原繁

秋來ぬと

秋風に

秋來ぬと

七月十三日

発表會にするものは、和歌を朗誦す
ることになりました。私は、藤原敏行
の、秋來ぬと目にはさやかに見えね
どもといふのをします。二五時間め
に、うんと練習しました。私は、藤原
敏行をあきすけと、敏ちがへさうにな
つてしまひます。又、秋來ぬとを、秋
風になどと間ちがへてしまひます。よ
く似てみますから注意しませう。明
日は大きな声ではつきりと朗誦で
きるやうに早くやすみました。

秋來ぬと

七月十四日

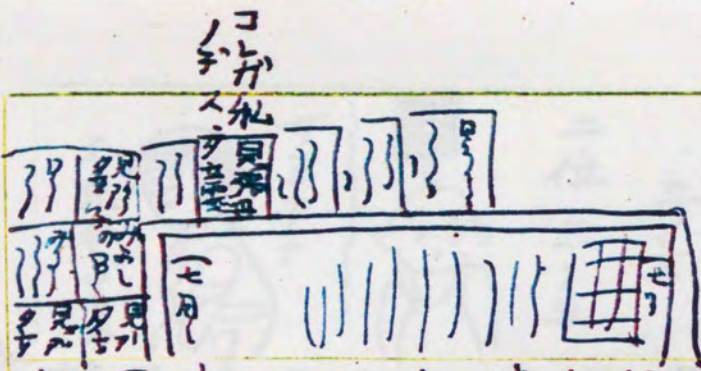
目にはやかに
見えねども
風の音にぞ
おどろかれぬる



アノカゼデオ
ネンカ...
アサデスカ

今日は発表会です。一番面白いと思つたのは、二の季節よりもこの学校ごっこ。二の警告式で教えた。私達は休けい三番めでした。私は出きるだけ大きな声で、間違へぬやうにはつきりと言つた。たつもりです。よくできたかしら。給食のあと、お當番をして下校しました。今日は佐竹さんがお休みでした。代理は坂本さんになりました。家の電話によると、かぜでおわつが出たのださうです。はつと、歌の感じをおして朗詠しましたよ。

七月十五日

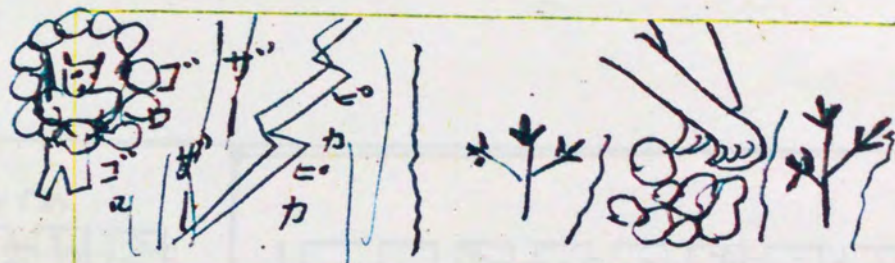


楽しみにしてゐたお習字。落ちついて心をこめてかきました。何度も毎日五六枚づつおけいこしたかひがあつて、たうたう張出しになりました。ですが佐藤さんや木谷さんとはずるぶん下手です。木谷さん達とくらべられるほどうまくかきたいなあ。これからはいつでもおけいこになるやうにします。お習字が優になりきるまでは、だれぞれからもむろんしますよ。

ほんとうに努力した甲斐がありました。先生も張られる日を待つてゐたので、よくがんばつたと思ひます。

七月十六日

今日は郊外園へ行きました。おじやがを掘りました。大へん大きなのが澤山できておて面白いほど出て来ました。大豆を倒さぬやうに掘り残しの無いやうに掘りました。教生の先生とお別れなのでクラス會を開きました。私は今村さんとしよに歌を取ってお聞かせしました。博一ちゃん遊びに来ました。雷がなるとおへそをちよいとおさへておます。中央線の沿線に落雷したらしく、電車が一々気笛を鳴らしてゐました。



七月十七日

今日は杉原さんとお別れしました。山口縣へ疎開なさるさうです。大谷さん古川さん有松さん網さんも近くなさるのなさうです。どんどん数がへつて行きます。淋しくなつてしまふわ。

午後から就量球大會がありました。私達は二五組に勝つて三六の組にみごと玉さいしてしまひました。けつきよく三ノ六が優勝で、三ノ五が二位、三ノ六高ニが三位になりました。今度は範球大會があります。しつかりなくては籠



毎日々々大きなおまじことか記されて思ひ出の多い日記とばかりでせう。お習字もやり始めましたね。

廿 廿一 廿二 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十

ドカカ豆コ^ちフ^まゆ^ぜお生^り天^{てん}お餅^{もち}おほ^お

ナニス、ロキ、うでん、つ、井、赤、巢、こたは

ツトラにケシハシグイ粉 フー 餃子餅餅き

4	17	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22
---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

クド五ツはキ栗(カ)コおどワタおあくシイウ

リウ目ケうんまーハツムシツヨコデスウリタ
ナカカノビエノフコイサウリタ

ムツ(千んんじう)か、フツ、燃ル、丹、わち、イ、ず、

[illegible]

食べたい物

101	100	99	98	97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82
-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

を 玉 玉 か お ら へ あ 甘 ト 4 マ 果 ウ い き あ そ ア

者 ぎね けいさ ぶ 食 ー カ 物 イ す び わ ば イ

たどぎやしサツスメロから金餅がワ

や 煮 子 だ げ ー 二 豆 共!

120	119	118	117	116	115	114	113	112	111	110	109	108	107	106	105	104	103	102
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

キがふらい、目みつきシマまたしま千おゴじ

中にしまり玉かたや、ましまちつ、そま

や、や、や、め、ト、し、ゆ

ル かうまき 冬の まいどろそき ゆきんル 午

速

乳に

No.

6160595857565554535251504948474645444342

タタミあみヲスホウうおバスク牛さ支セ肉ヲ
キヲルんつクイイハなんセントザチままりバ
ラハクみ豆ガトッスぎべホク芋んン
スンッンンスいトめム

8180797877767574737271706968676665646362

大々くとしくおカエあまオオソハヒアカ
ワすろらしだリクまゼキ魚ゾセムフラシ
芋ム陽ろたんンシリつはトニジすレライ
シまごごトヤうンキスス

No.

支ホカご白カリミカシハはえイヤヒミア

リク那ンきまにそンカルロンひりツきた
大コ厚ホ氷塩ご焼ゴジビツあじのとコ肉ら
豆トかンまか酒ユスアガゆぶうし
たけスのくうふし

大き夢バおッホはみ

福なこイこト人まそ

田こがしヶべ煮

ちしきんこ

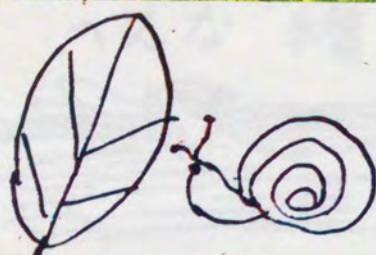
全員戦死
サイパン島



我身以テ平太

七月十八日
午後五時の發表でサイパン島全將兵
戦死といふしらせがありました。あ、
たうたうサイパン島も敵の手に渡つ
てしまつたのです。大本營の發表によ
ると、サイパン島の我が部隊は七月七日
早朝より全力を擧げて最後の突撃を
敢行して十六日迄につひに、全員壯烈
な戦死を遂げられたのです。陸軍部
隊の指揮官は、齊藤義次中将、海軍
部隊の指揮官は、辻村武久海軍少將で
同方面の最高指揮官は、岡雲忠一海

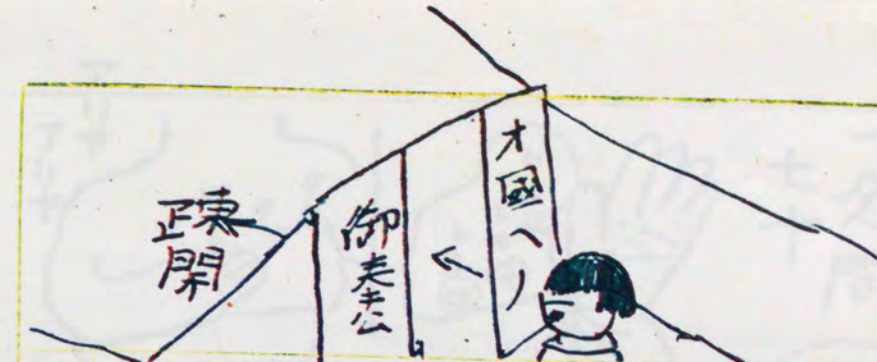
洋ノ坊波堤ヲシラ



軍中將でした。先月の二十・二十四日
に、サイパンの水源地は破壊されてか
らは、今日の十六日迄、どんなにお水が
お飲みになりましたか。本當
におきのどくです。又、我が軍は木の葉を
かみ、かたつむりを食べて敵陣に迫り、
大損害を與へたことでもあります。今
月の五日に、重傷者にて起つことの出さ
ない約三、四名の傷兵が、たは戦友と突
人を誓つて、自決なされることになり、重
要書類はことごとく焼きはらつてしま
はれたさうです。又、兵隊さん方は、血

心かま(けし)かり出まてぬまふよ。それを毎日のくらし方に表すうに。
 大きな努力が。で、我身う以て太平洋の防波堤外めに。

とお書きになつたのもあります。この
 血文字に私達もつづかなくては。
 今度こそはいよいよ東京へ空襲に
 きます。私達がお國への御奉公は疎
 開することなのです。喜んでいたしま
 せう。又どこにいてもいつとき空襲
 になるかわかりません。敬言、戒言、教に
 ならないで空襲になるかわかりません。
 充分に心がまへをしつかりさせて暮し
 ませう。子供もお國への御奉公の道が
 ひらけたのです。



今日は大谷さんとお分れました。和歌
 山縣へ疎開なさるのです。どうぞお
 元氣でね。級長になつて下さいね。
 六時間めに水泳をしました。昨日ま
 でうけなかつたのが、今日やつたら一寸で
 すが浮けました。早く泳ぎたいなあ。
 佐竹さんは大變お上手で、しゅーっ
 しゅーっ泳いでらつしやるので、わるい
 ですが一寸しやくにさわつてしまひ
 ました。いっえ、私だつてもうじきあ
 の位泳いでみせますよ。猛勢練習をし
 てね。



一分間
七十

七月十九日
一時間めに發育調査をしました。
待つ間に脈を計りました。私は一分
間に丁度七十でした。心臓をしらべま
した。が私は分ない。うちに過んでし
まひました。今度又いつか折があつ
た時計つて見やうと思ひました。
今日は泳げるやうになりました。ク
ロールのできそこないのやうなもの
です。嬉しくてたまりません。二米位泳
げます。もうすぐ十米も泳げるや
うになるでせう。



七月二十日
今日の水泳は三時間めです。西村さ
んと一しよに飛込みの練習しまし
た。始め足からやつて次に頭から飛
びこみました。泳げました。泳げまし
た。飛び込んで泳げたのです。毎日
一つづつおぼえていくわ。その次は
背のたぐひ所です。出きました。出き
ました。嬉しくて胸がおどります。
じやいんと水が快い音を出します。
東條總理大臣以下全部やめられた
ので小磯大將と米内大將とで決定な
ります。

七月二十一日



今日の水泳は四時間めでした。今日は、
宮内省の方が本校にいらしたので、飛
び込みもかけんしました。弘田先生
が、浮き方泳ぎ方をくわしく説明
して下さいました。その後で佐竹
さんに平泳ぎの足の動き方を教へて
いただきました。もうほんとの
方が泳げます。始め、あんなに浮け
るものかと感じしましたが、浮けるや
うになつたら、沈むのが、つらい位に浮
いてしまいます。努力が目に見えてうれし
い。

七月二十二日



今日は行軍です。東京で行はれ
る行軍は、これが最後かもしれな
いと思ふと、大へん元氣が出ました。
東郷神社の境内と、四谷の恩師公園
とで休けいしました。おべん當の後で、
海老沢先生とお話をしました。又、今日
木谷さんとお別れしました。長野縣の
川中島ださうです。一年の時は四十四人
だつたのに、十一人もおやめになつちや
つたので、今は三十三人。あ、だんだん淋
しくなつてしまふ。



七月二十三日

朝早く父が上京されたので、朝御飯はにぎやかにおいしくいただきました。午前中、父と一しよに、三省堂・富山房・東京堂などへ行つて、和歌鑑賞・太平記物語・芭蕉さまといふ本を買つていただきました。午後は國史の勉強しました。今日はお家のお風呂の入りがあるのです。父に髪を洗つてもらひました。夜町の方へ遊びに行きました。御飯が過んで散歩がてら。

七月廿四日

疎開學園

集團疎開は、久米川になりました。一壺に二人ださうです。私は、集團疎開にしました。

附屬國民

今日又、佐藤さんと、是松さんにお介抱しました。佐藤さんは福島縣の伊達郡に、是松さんは大分縣にいらつしやるのです。たうたう三十一名になつてしまいました。あゝ淋しい。今日母が用事で夜でかけたので、五時に御飯を食べて、六時半に寝てしまいました。



七月廿五日
 今日の給食當番は最後です。私は
 網さんとしてよに、一部二年へ御飯
 を持つて行きました。一年生はえ
 氣に本を讀んでゐました。今日は
 さけがありました。私は三部四年に
 持つて行きました。まだ一度も行つ
 たことのなひのは、五・五・五・三・三
 と三組だけです。一・二が、お手傳も持
 つて行つたのも一番多いです。二・二に
 お手傳ひに行つたのは、少くとも七八
 度はあります。



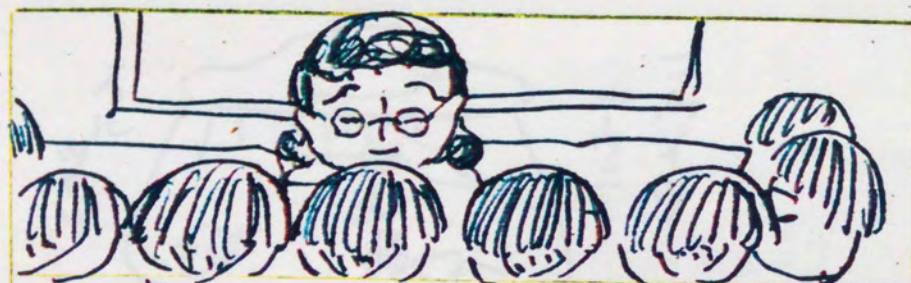
七月廿六日
 今日(今日)もさけがでました。私は皆に
 さけの骨をもらつて家へ持つて歸
 り、ミ・子とチロにやりました。二匹と
 も大喜びで、チロは尾っぽをふりふ
 り、ミ・子は、ゴロゴロいひながら、
 にもおいしさうに食べました。今日
 は全校体練はなくて、給食後す
 ぐ下校しました。お友達のうわさ
 によると、成績會議があるのださう
 です。成績が心配。第一に裁縫が
 良くて、お習字が良上か、良下で……

七月廿七日

二年生

今日、第一班は農園へ行きました。
朝會の時は一部一年のお隣りでした。
いつものくせがでてひらけの時、遠く
の方までふつとんでいきました。
た。四時間めに蛙を解剖しました。
まず、薬をかけてやりました。瀧先
生は解剖着を着られました。蛙
のお腹の皮は柔かくて、ハサミでデヨキ
ン4ヨキンと切れます。胃は人間の
六年生やうにこんな形ではなくもつと
ながほそいでした。腸・心臓・胃・肺

四年生
ハイナイ



等くわしく説明していただきました。
た。蛙は人間にとっても似てゐます。
網さんは解剖してゐる時、気持ちが悪
くなつてしまひました。私も始め
解剖するとき、ぞうつとしてしまひ
ましたが、がんばつてじつと見て
みたら、おへつて面白くてたまら
なくなつてしまひました。ます
い薬のほひが鼻をつんとつ
て、やでした。エーテルといふお
薬です。あ、おもしろかつた
又やりたい



七月廿八日
今日は第二班、私達が郊外園へ行き
ました。畳がーばいつんでありまし
た。一ノ六は、小屋のお掃除をしてそ
の後で、私と相田さん・佐竹さん・西村
さん等で、手洗水のバケツをあつちや
つたり、こつちやつたりくやんだりしま
した。後で高瀬さん・佐竹さん・相田さ
ん・私とで後仕末をしたので、一番
びりつけになつてしまひました。
西川・今日井戸の方は私達が一切やつたわね
相田みんなね！



七月二十九日
今日は三年以下が久米川行です。
四年以上で大掃除をしました。
一時間めと二時間めだけ授業が
ありました。家へ歸つてから、袋を
作りかけました。一方には支那の子
一方には犬と猫と小鳥をつけまし
た。明後日は、自分仕立の袋を大
いばりで持つて行くつもりです。
明日中に作つちやつて——
夜上田さん(お隣り)のをばさんとお取
歩に行きました。

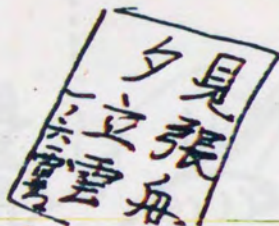


七月廿日
 今日は朝から袋のししゅうをしました。かどの所がなかなかうまくできな
 いで、そこだけ母にやつてもらひました。
 むづかしいかしらーと思つてゐましたが
 やつてみる。とさうむづかしくありませ
 んでした。一番困つたのは垣根でした。
 糸がひきつれたりたるんだりー
 でもできたら、自分の苦心が目に見え
 て本當に嬉しく思ひました。明日
 はこ水をさげて行くの。なんだか
 どきどきしちやうは。

第一に

ホラヌク

第二に



七月廿一日
 今日(○)はでき上つた袋をもつて學校
 へ行きました。
 終業式後、作品や成績表を返してい
 たいただきました。私は藝能料が良上が多
 いのです。とからずしと体操まではい
 つけられどー。その後がためだめ。そ
 の後も、見せられるむうに、夏休中に
 みつちりけいしてみませう。まづ
 運針、次にお習字……一年生頃の
 作品は、じつに愉快です。なにがなん
 だか自分が書いたものでもわかりません。

八月三日

朝御飯後、通の方へお使ひに行きま
した。大へん暑かったです。が、かんばつて……
今日は満月でした。望遠鏡を持ち
出して眺めました。望遠鏡からのぞく
と、月のまわりが、あおと紫とでつまれ
てゐて、目を一寸細くすると、七色みえ
ます。今度肉眼でやると、やはりあお
と紫でつまれてゐて、目を細くすると
赤はつきりはつきります。松の木の間
にマナ杉の間から、照り輝く月は、實に
美しく神々しいでした。

八月四日

杉の木の間がくれに月が照る
夕方、畠で、トマトの手入れをして
ゐると、トッセンボーと警戒警報
のサイレンがなりました。私はさつやく
水を入れて、防空の用意をしました。
今日の月も大へん美しかったです。庭
のえん台に腰かけて眺めました。月
は、警戒警報とも知らぬやうに、かう
かうと輝いてゐました。あゝ本當に
幸福です。かうやって月を眺めら
れるなんて……
杉の木の間がくれに月が照る

杉の木の間がくれに月が照る



八月五日



あゝ幸せ

書週、岸さんといしよに豚のえさをやり、にでかけたら、島の所でオマリさんにあひました。オマリさんは自轉車に乗つて、手でメガホンを作つて、警戒戒警報解除と言つて居られました。あゝなんと幸せな事でせう。今度こそは來ると思つてたのに、空襲にもならないで。私ははるが、兵隊さんの御苦労をしのんで、もくたうをさぐげました。兵隊さん有難うございます……



八月六日



一年生

ヨカツタ
ヨカツタ



六年生

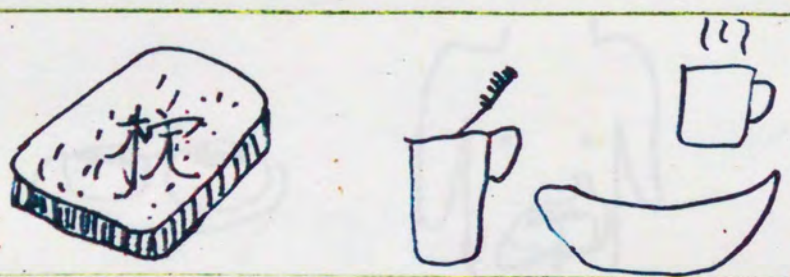
今日は、學校へ行つて身体検査を受けました。本間先生が、ととのつた形だ。丈夫さうなとほめて下さつたので、本當に嬉しく思ひました。私が、今も、一年生の時のやうに體だつたら、いかなうでせう。七十日も休んでは……目の検査もありました。私は行かれるかしら？。だが、一年の時からみて、丈夫になつて本當に本當にそれを何より嬉しく思ひます。

隆ちゃん



八月七日
 今日は、母が学校へ行かれたので、
 一人でお留守番しました。とみやせ
 んの女中が隆子ちゃんを連れて遊び
 に来ました。隆ちゃんはとてもあ
 げうがよくて、笑ってばかりいま
 す。隆ちゃんばというところ、ふふふと笑
 ひます。母が学校から帰られま
 した。私は、集木園疎開に行かれる
 さうで本當によかつたと思ひます。白
 井さんと今村さんは、いられないのだ
 さうです。

八月八日



七時に学校へ行きまして。いろんな
 物を持って農園へ行くつもりでし
 たが、やめになつて、草むしりをしま
 した。午前中に歸りました。明日
 もう一度七時に学校へ来るのださ
 うです。
 今日は、母が疎開の用意をしてく
 れました。枕を出したり、持っていく物
 を揃へたりしました。十七、十八、十
 九日の三日間に武蔵境の驛へ出す
 のださうです。

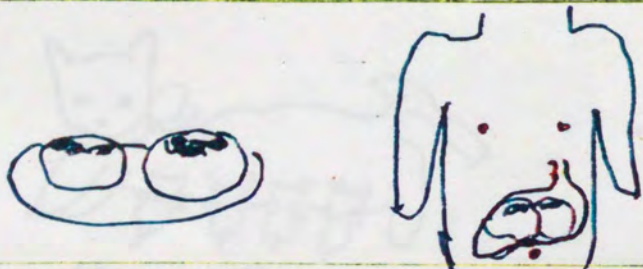
八月九日

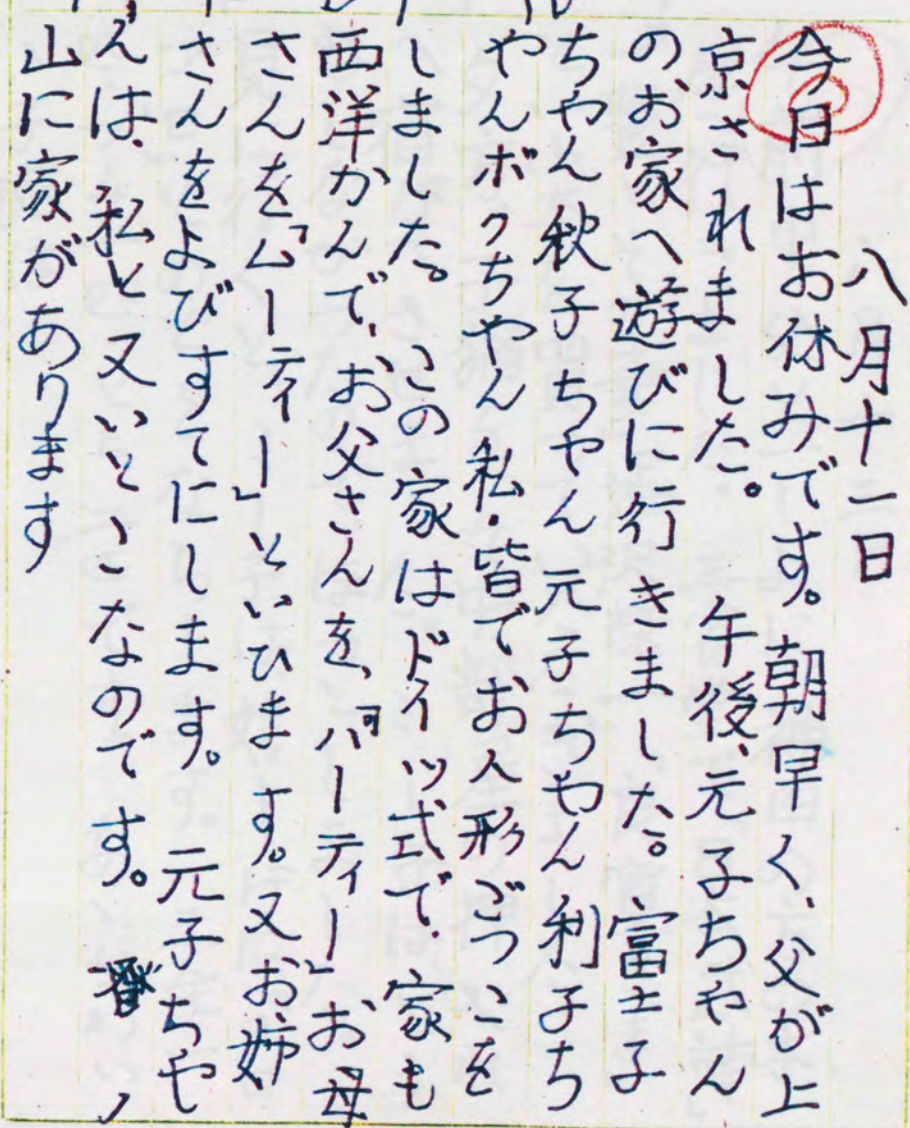
七時に学校へ行つて、バケツを持
て農園へ行きました。今日は阿
部先生と齊藤先生だけでした。
村野さんのお家を見ました。
歸り小平の方へ行く途中先
頭に歩いていらした阿部先生が
「馬のうんち」
と大聲でおっしゃつたのでびつくり
すると、すぐにそこに馬のふんが
ありました。おかしいやら面白
いやら笑ひづめでした。



八月十日

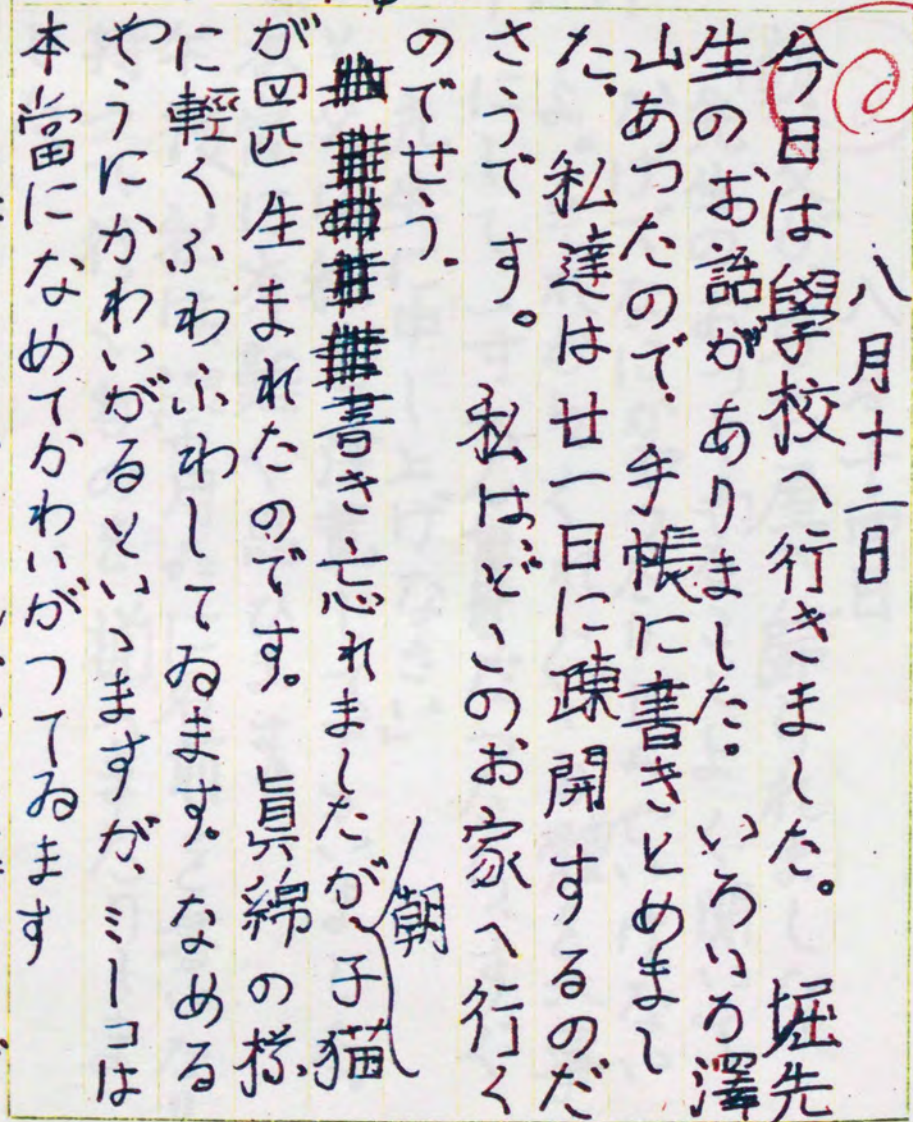
今日も農園へ行きました。すぐ
村野さん・朝見さん・田中さんの家
へ行つて、村野さんの家の障子を洗
ひました。先生に大へん早いとほめ
られたので嬉しく思ひました。
村野さんの家で、皆にトマトを三つづ
ついただきました。私は、トマトはあ
まり好きじゃなかったですが、みんな
と楽しく食べるのとて、おおいしく
て、三つとも、お腹の中におさまつてし
まひました。





八月十一日

今日はお休みです。朝早く、父が上
京されました。午後、元子ちゃん
のお家へ遊びに行きました。富士子
ちゃん、秋子ちゃん、元子ちゃん、利子ち
やん、ボクちゃん、私、皆でお人形づいて
しました。この家はドイツ式で、家も
西洋かんで、お父さんを、パーティー、お母
さんを、パーティー、いひます。又お姉
さんをよびすてにします。元子ちゃん
は、私と又いひ、こなので、
山に家があります。



八月十二日

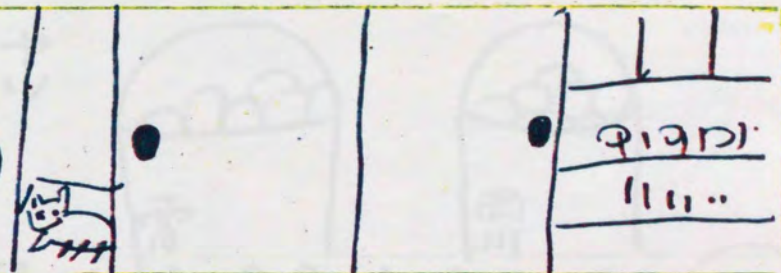
今日は學校へ行きました。堀先生のお話がありました。いろいろ澤山あつたので、手帳に書きとめました。私達は廿一日に疎開するのださうです。私はどいのお家へ行くのでせう。

~~お母さん~~書き忘れましたが、子猫が四匹生まれました。眞綿の様に軽くふわふわしてゐます。なめるやうにかわいがるといふますが、ミークは本當になめてかわいがつてゐます。

ミ子とはとてもいじまんて、目に行つてもど
うもしません。バツトの下でうみました

八月十三日

午前中父と一しよに、神田の方の本
屋へ行きました。三省堂で「日本武尊」
「豊」とその妻「湊沢榮一」「良寛さま」
といふ本を買つていたなきました。
夕方、子猫を、女中部屋の押入れ
へ宿がへさせました。ミ子はどう
もしなかつたので、ほつとしました。
見に行くと、ミ子には嬉しげに「ゴロ
ゴロ」の音をならします。三毛一
匹、ブク一匹、とり二匹です。あ、かわい
い子猫は



八月十四日

朝父が、名古屋へ歸られました。
「先生のおつしやることよく聞いて、
かげでなにかやつたりしちやいけな
いよ。それからくれぐれも體を大事
にして、一寸へん~~だ~~だつたら、すぐ
先生に申し上げなさい」
と父は私を、注意して下さいました。
本當に有難く思ひます。
午後私は、學用品に名前を書いたり
持つて行くものを揃へました。いま
した。



八月十五日



午前中は、ふとん、衣類など又持物
などに名前を書きました。
午後は荷物を作りしました。とみ
やが来てくれたので三人でうんしよ
うんしよ作つて、四時頃出しました。
今日は、おじやがの配給があるので通ま
で買いに行きました。一人一貫目です
から、家は二貫目です。しまひになる
と手がぬけさうに重くなつてしま
ひました。が、がんばつてやつこらやつこ
らさけて来ました。

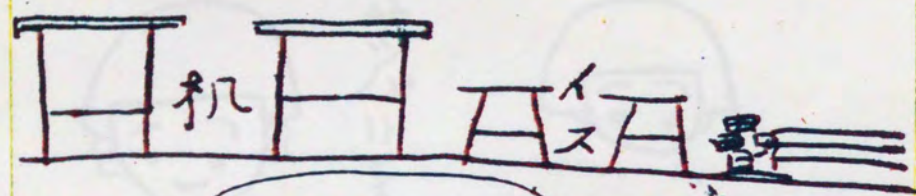
八月十六日



学校へ荷物を出した。證明書を
持つて行き、三輪田先生にお手
渡しいたしました。佐竹さんとい
しよになりました。
午後、お人形ぶつこをしました。
猫が、だんげさんになりしました。
だんげさんとは、片目あったこと。
目つかちさんで、ミューミューと声高
らかに泣いておます。ミュー子は御
方足さうに目を細くしておます。
ミューミューミュー



午後八時十七日
 午後乳母車を出して、本當の赤坊
 位の赤ちやん人形を乗せて遊びまし
 た。大へん好く出来ておて、一寸み
 ると本物みたいで、手・後首・足
 など、そつくりです。今にもお人形が
 笑ひ出しさうな氣がします。
 夜、四など、エナメルで名前を書
 きました。
 祖母ちやんから水盆を送つて來
 ました。さつそくかぶりつきました。
 大へんおいしゅうでした。



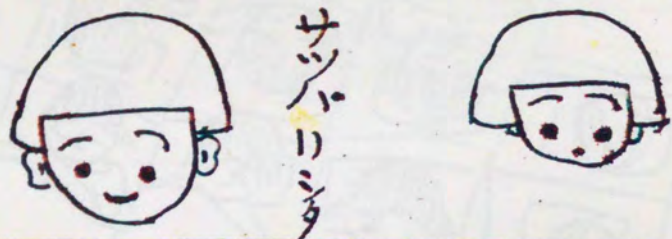
八月十八日
 今日(今日)は農園へ行きました。私達
 は、畳と机と椅子を運び出して、中を
 掃除して、又、中に運び入れました。
 家へ歸つてみたら、四時でした。
 今日雑布を持つて來た人は、窓ふきを
 しました。ごしごし、きゅきゅき
 ゅ、窓ガラスが綺麗になるのが楽し
 みです。
 持つて行くものを整理したり、名
 前を書いたりしました。
 一部六年 西川幸江

八月十九日



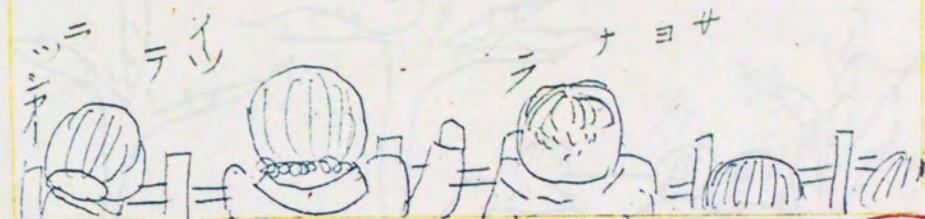
七時半に学校へ行つて、かやを持
つて農園へ行きました。かやは水
色と白のぼかしのと、緑色とのです。ば
りはりのきれいなかやです。
今日は、鎌で草刈りをしました。一
部六年の草の山は、大へん高くなり
ました。それから、荷物運びをしま
した。三四年の荷物です。女学校へ
入れました。重いのや、軽いのや、う
ろありました。今日は歸つ
たら五時半でした。

八月廿日



今日は学校で、お話がありました。
十時頃家へついて、すぐ、床屋へ行
つて耳の上まで刈つてもらいました。
大へんさっぱりしました。晝飯後
お風呂へはいつて、頭を洗つていた
がきました。明日からは、日記を鉛
筆で書きま

万年筆ちやん、長い間有難う。
半年だけさようなら。女学校に
入つたら又ね。



② 八月廿一日
 今日からは日記を鉛筆で書きます。
 いよいよ今日集團疎開で家を放れ
 ます。隣組の人に一應ごあいさつにあ
 かりました。お風呂へ二度入って身を
 清めてから、隣組の方に送られて出
 発しました。
 学校で始業式、壮行式のあった後高
 田馬場へ行軍して、お母様達と高馬
 場で別れました。荷物ほどこきは、大變
 でした。が、万力を出してやりました。私
 のとめてゐるただく所は、村野さんの家

離



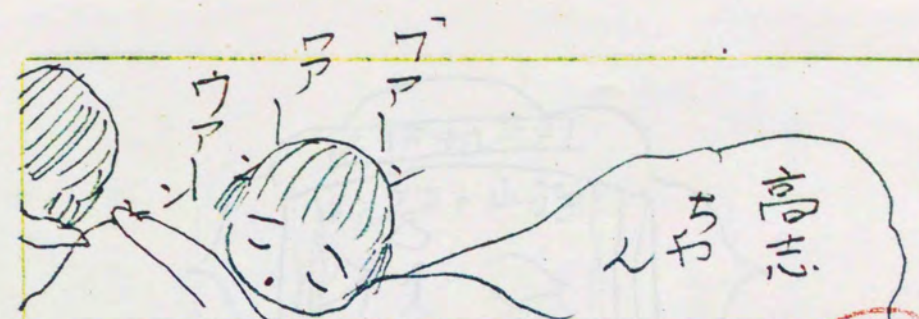
です。寝る時、なんだかおかしいやら
 楽しいので、ういおしやべりしてしまひま
 した。が、私は皆より、ずるぶん早く寝
 てしまったやうです。
 ② 八月廿二日
 お目ごさめました。半数位の方が
 起きていらつしやいました。さつぱり
 した氣持で、のびをして起きました。
 荷物の整理をしました。夜、村野さ
 んの家で、お風呂へ入れていたたまきま
 した。ぽかぽか あゝいゝ氣持
 皆様お休みなさい



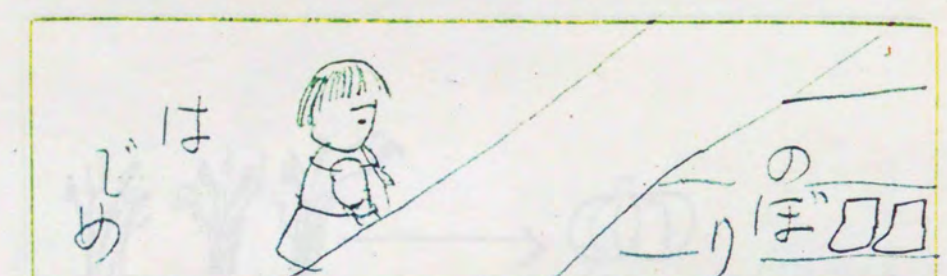
八月二十三日
二時間め三時間目と授業がありました。三時間めの国語は女学校の方へ行つて、青天井（雲があつた）つげの下で楽しく學びました。ざう木林の中のおれに白つてやるのは、大へんさつぱりします。午後、お風呂へ水くみをしました。リレー式に、じゅびゆんまわしました。代りばんつに、再わばしよを代りました。防空演習の練習をいたします。
はいのさん



八月二十四日
一時間め音楽でした。小菅先生がお休みなので、齊藤先生がやつて下さいました。校歌みがかづばのお話でした。三時間めの地理は前田先生で、三部の方と一しよにやりました。午後はお洗たくをしました。下着ニ枚ズロースニ枚、ハンカチ、靴下、などを洗いました。ゴシゴシ、面白くほどあわびます。シャボンになるべく節約して、それできれいに洗ひませうね。



八月二十五日
ふと目がさめました。村野さんの
赤ちゃんの泣聲で目がさめました。が
夢の中では近所の高志ちゃんの泣
声のやうな気がしました。あ、又泣
いてるなと思つて目がさめた時は
村野さんの家の二階の隅に、細
さんとくつゝいて寝ておりました。
午後村野さんの家の草むしりを
いたしました。すねぶん、廣い、廣い
畠です。びつくりしてしまいました。



八月二十六日
山口先生がお家へお歸りになり
ました。喜門先生、八鍬先生もいら
つて、やらないので、阿部先生御入
りなして、そして日記のつけか
たを教へて下さいました。村野
さんのお宅に新しく階段ができ
ましたので、さつやく登りました。
阿部先生がとても面白いことをお
つてやつたので、皆で大笑ひして思
ひました。手相を見て下さ
つたりしました。



今日(八月二十七日)は三年と五年の面會日です。三ノ六(男)が登壇でした。四年と六年は來週の日曜日です。何だかとても楽しみです。夕方、どんぐりと山猫といふ紙芝居を見せて下さいました。大へん面白かったです。弘田先生が説明して下さいました。軍隊、軍隊、車、車、次々若わしの歌などを歌ひました。圓くなつて歌ひました。村野さんのお家に下駄箱ができてました。



午後、村野さんの家の島の草むしりをしました。始め、とうもろこし島の所をやりました。井元さんと二人で、一列やりました。その後で陸稻の皇を、三雲さんと取りました。始め、陸稻と聞いた時、かぼちやの事かと思ひました。陸稻といふことばは生まれて始めてききました。小平の町に、ナブス患者が八十名出たさうです。十分に注意しませう。

ガマ六サン

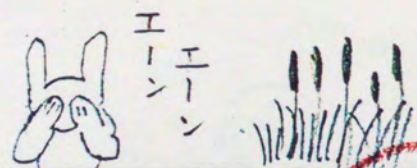


長太サ

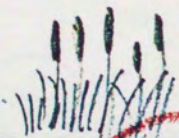
八月二十九日

私と佐竹さんと高瀬さんと高き
んと賀屋さんが後仕末かかりです
朝飯後おひつ味増汁バケツなどを
洗ひました。夕方紙芝居を見ま
した。孫悟空、椰子の實の仲裁を
見せていただきました。大へん面白
かったです。
村野さんの家へ歸つて見たら、手
紙が六通来てゐました。恵美ち
やんから一通、お母様から三通でした
から一通、お母様から三通でした。

八月三十日



エーシン

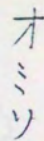
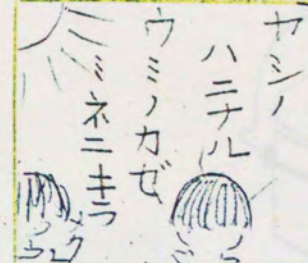


午後、村野さんの家よりもう一寸
先の家へ竹を取りに行きました。
三雲さん、賀屋さんと一しよに、三本
竹を持って行きました。重いで
したかがまんして……。
今日も紙芝居をみせていただきました
ました。ガミサマトシロウサギ
といふのでした。みんなの好くし
つてゐるお話で、白兎がわにさめ
に毛を毛られて、大國主神に助け
られたお話です。

朝村野さんの家から、まきを一本づつ運びました。

青天井の下の音楽は始めてです。
音楽室よりずつと音が小へてくるように大東亞を
ます。五年生と一ついよに大東亞を
歌ひました

午後味噌を取りに行きました。佐竹さん石原さん由良さん堀さん賀屋さん三雲さん私と七人でリヤカー



を引つはりました。お味増屋へ
は、青梅衛道の左側にあります。
重いかと思ひましたが思ひの外軽い
でした。

今日で八月も終わりました。疎開して
来てから、早十日たつたのです。悲しい
こともあり、嬉しく、楽しいこと
もありました。今日は喜門
先生が浅見さんのお家へおと
まりになるのださうです。

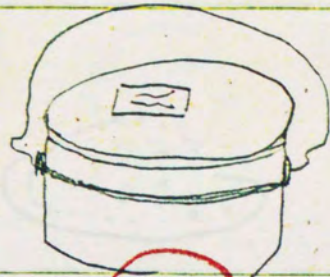
九月一日

今日は震災記念日です。

夕方お風呂へ入りました。私は足のすねが一寸うんでゐたので皆にうつすといけなひと思ひふくだけにしました。

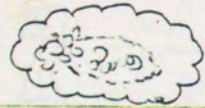
九月二日

お砂糖をとりに行きました。甘い甘いお砂糖みても、口の中が甘くなつてしまひます。午後お晝寝をしました。三時頃八坂神社の神主さんが求められました。



九月三日

嬉しい嬉しい面會日。何だか朝から心が落着きませんでした。今日はふだん着を着ました。家の母は三ノ六の西村さんのお母さんと采られました。三番めでした。西村さん佐竹さん、青木さんと一しよにお話しました。夜はお晝にさけの罐詰が出ました。夜はおつゆに鯨肉が煮込まれてゐました。おじやかのゆでたのもでました。

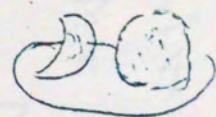
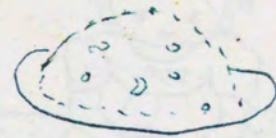


九月四日

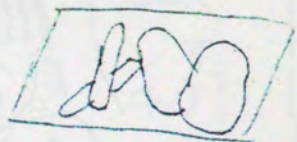
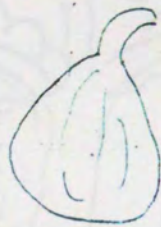
午後竹運びをしました。足の
林巴線が腫れて少し痛いでした。が
まんして井えさんといしよに持ち
ました。お八つに、白いあめと、茶色
いあめを下さいました。つかれた
時の甘いものは、本當においしいでし
た。お晝御飯は、鯨肉が一しよに
たきこんでありました。これ
も大へんおいしかったです。

九月五日

一時間めお洗たくをしました。



栗南瓜



午後は作業でした。村野さんの
家の南瓜を取りました。全部で
二個でした。大へん大きなものもあり
さう大きくないのもありました。
リヤカーはいいにたりました。

九月六日

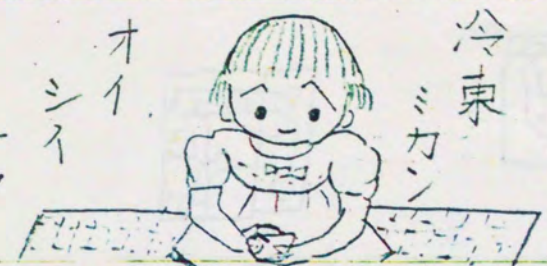
今日のお八つは、干菓子でした。
あまくてはさばさして、とてもおい
しいでした。夕飯前髪を洗ひま
した。大へん氣持よくなりました。
一時間めの武道と、四時間めの算數
と代りました。

オイ シイ
 アマイ
 冷東
 ミカン
 オイ シイ
 ナア

お八つに冷東ミカンをいただきました。きま
 した。お汁がとて甘くておいしいでし
 た。お、わんに一ぱい下さつたのです
 今日のは作業が無かつたので佐竹さん
 高瀬さん私と三人でお手紙、日記を
 書いた。り、練習や復習をしました。又
 お話合ひもしました。

九月七日

今朝御飯の時、雲が「カケツコ」をして
 おました。とて早く、この松を
 めけたと思ふと、すぐ又、あの松の
 かげに入つてしまひます。

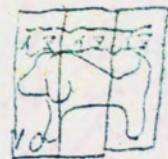
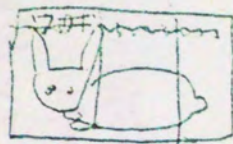


「オカア
 サマ
 オケ
 ンキ
 デスカ」

朝禮前、佐竹さん達とお手紙を
 書きました。風が大分強く冷
 でした。齊藤先生が「東京の方は
 ずるぶん雨が降つてゐる」とおつし
 やいました。こちりも荒れ模様
 な天気です。たびたびはら
 と小雨が降りました。
 今日もお八つを
 いただきました。
 ビワの冷東までし
 た。口に一寸入れると
 こほりつくやうにつ

都内
 中野区
 川町
 西川
 二丁目
 二丁目



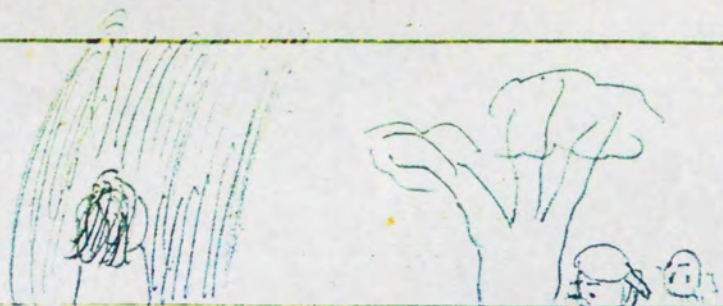


めたいでした。すぬぶんめづらしい
でした。今日、お風呂へ入りました。
薬湯です。晩はゆつくり、皆で動物
合ワセをしました。やり終らぬう
ちに、寝る時間になつてしまつた
のは残念でした。

九月八日

今日は、大詔奉戴日です。九時
からお式がありました。朝、すごい雨
でした。途中から、だんばん静か
になりました。一時間、海軍の兵
隊さんへ慰問文を書きました。

ゴ
ー
ン
ゴ
ー
ン
ゴ
ー
ン



六時間めに、才話下歌ノ會があり
ました。一番始めは、菅村先生の
お話でした。大へん美しいお話
です。二番めは、体育科の教生
の先生の歌でした。三番めは、岩
丸先生のお話です。徳川光國、水
戸光門さまのお話です。かわさ
うな中にも面白いお話でした。
お八つはお豆をいたたきました。
た。甘いお砂糖のついてゐるのも
あり、からいのもあり、大豆の
もありました。

夕方、佐竹さん、高瀬さんと算
数の勉強をしました。

西川さん、元気な顔で朝から
組を組むくするのよ、よろしい
佐竹さんも早く、人のお手傳い
までよく出来、班中で一番よく
働くのは、感心
た、それだから、いつか感心した
仕事、遠い人におこりつけるやうな
ものを、いつか、折角の、それ、え
の、美しさを、台本に、してしまひ
つ、すし、やかに、誇、る、が、

終

